

バージョン: 4.0

発刊日: 12th 11 月 2020最初の発行日: 28th 8 月 2015

www.vishaypg.com

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

セクション 1: 化学品及び会社情報

ラベルに使用される製品の識別子

製品名

M-Coat FBT

その他の名称

(一つも、何も、誰も) ない / (一つも、何も、誰も) ない

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

接着剤、密封材

使用制限

知られていない。

製品安全データシートの供給者情報

サプライヤーの詳細

VISHAY MEASUREMENTS GROUP UK LTD

サプライヤーの住所

Stroudley Road
Basingstoke
Hampshire
RG24 8FW

英国

電話

+44 (0) 1256 462131

ファックス

+44 (0) 1256 471441

電子メール (専門知識のある人員)

mm.uk@vpgsensors.com

緊急時の連絡先

緊急電話番号

(00-1) 703-527-3887

CHEMTREC

セクション 2: 危険有害性の識別

危険有害性の概要

製品の取り扱い:

引火性の 黒いペースト。芳香族臭い。飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。皮膚刺激 強い眼刺激。長期にわたる。又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。水生生物に有害。蒸気を吸い込まない。保護手袋/保護服/眼の保護具/顔面保護具/聴覚保護具を着用する。すべての汚染された衣服を直ちに脱ぐこと。皮膚 (又は髪) に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合; 医師の診断/手当てを受けること。眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。無理に吐かせないこと。飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。地方自治体、都道府県、または国の法律に従って内容物を廃棄する。

物質又は混合物の分類

以下に準拠: JIS Z 7252: 2019

バージョン: 4.0

発刊日: 12th 11 月 2020最初の発行日: 28th 8 月 2015

www.vishaypg.com

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

物理的な危険

Flam. Liq. 3; H226

健康への危害

Asp. Tox. 1; H304

Skin Irrit. 2; H315

Eye Irrit. 2; H319

Repr. 1B; H360

STOT SE 1; H370

STOT RE 1; H372

環境に対する有害性

分類されていない。

ラベル要素

危険性を表す絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H226: 引火性液体及び蒸気。

H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

H315: 皮膚刺激

H319: 強い眼刺激。

H360: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。

H370: 臓器への損傷を引き起こす: 中枢神経系, 気道, 肝臓, 腎臓。

H372: 長期にわたる、または反復曝露による臓器の障害を引き起こす: 中枢神経系, 気道。

注意書き

予防

P210: 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。 - 禁煙。

P233: 容器を密閉しておくこと。

P241: 防爆型電気機器を使用する。

P242: 火花を発生させない工具を使用すること。

P260: 蒸気を吸い込まない。

P264: 取扱い後は、手および曝露した皮膚をよく洗う。

P270: この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

P280: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応答

P301+P310: 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。

P303+P361+P353: 皮膚 (又は髪) に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

P304+P340: 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P305+P351+P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P314: 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

バージョン: 4.0

発刊日: 12th 11 月 2020最初の発行日: 28th 8 月 2015

www.vishaypg.com

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

保管	P308+P311: ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。 P331: 無理に吐かせないこと。 P333+P313: 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合; 医師の診断/手当てを受けること。 P337+P313: 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。 P361: すべての汚染された衣服を直ちに脱ぐこと。 P403+P235: 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 P405: 施錠して保管すること。
廃棄	P501: 地方自治体、都道府県、または国の法律に従って内容物を廃棄する。
重要な危険有害性	知られていない。

セクション 3: 組成/成分の情報

単一製品 - 非該当

混合物

GHS 分類 JIS Z 7252: 2019

物質の化学的特定名	%W/W	CAS 番号	化審法 官報公示番号 [^]	危険有害性分類
Isobutylene/Isoprene/Butene/Mineral Filler Blend	< 90	-	-	分類されていない。
キシレン	< 15	1330-20-7	3-3	Flam. Liq. 3; H226 Asp. Tox. 1; H304 Acute Tox. 4; H312 Acute Tox. 4; H332 Skin Irrit. 2; H315 Eye Irrit. 2; H319 STOT SE 3; H335 STOT SE 3; H336 Repr. 1B; H360 STOT SE 1; H370 STOT RE 1; H372 Aquatic Chronic 3; H412

Hフレ<Y (危険有害性情報)の全文については、セクション 16 をご参照ください。^化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律
当製品の分類に影響を与えるであろう他の成分または不純物はありません

セクション 4: 応急処置



応急措置

吸入

ありそうもない曝露経路。混合物はベ<Xト状です。暴露した場合: 空気の新
鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

バージョン: 4.0

発刊日: 12th 11 月 2020最初の発行日: 28th 8 月 2015

www.vishaypg.com

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

皮膚接触	皮膚に付着した場合: 汚染された衣服を脱ぎ、患部をすべて大量の水で洗う。汚染された衣服は徹底的に洗浄する必要がある。皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合; 医師の診断/手当てを受けること。
目との接触	眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
摂取	飲み込んだ場合: 口をすすぐ。意識を失った人に、口から何も与えない。無理に吐かせないこと。嘔吐が自然に発生した場合には、肺への吸引を防ぐために頭を腰よりも下に保つこと。直ちに毒物センター/医師に連絡する。
最も重要な兆候及び症状、予想される急性症状及び遅発性症状	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。皮膚刺激 強い眼刺激。生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。臓器の障害: 中枢神経系, 気道, 肝臓, 腎臓。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて処置すること。 飲み込んだ場合: 無理に吐かせないこと。

セクション 5: 消防対策

消火剤	
適切な消火剤	周囲の火災に応じて。できれば、乾いた化学薬品、砂、泡、または二酸化炭素で消火する。
使ってはならない消火剤	ウォータージェットを使用しない。直接水を噴射すると火災が広がる可能性があります。
火災時の特有な危険有害性	引火性液体及び蒸気.. 火災により分解し、有毒なフュームを放出するおそれがある。一酸化炭素、二酸化炭素, フェノ< 距, 酸類 および 複数のアルデヒド。蒸気は空気より重く、着火源および逆火源までかなりの距離を移動することがあります。
消防士のための特別な保護具と注意事項	消火作業員は自給式呼吸器を含む完全な保護服を着用すること。フュームを吸入してはならない。火災の場合、容器に水を噴霧して冷却する。水路や下水道への流出を避ける。

セクション 6: 偶発的放出の測定

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	適切な換気を確保する。安全に対処できるならば着火源を除去すること。安全に対処できるならば着火源を除去すること。指定された個人用保護具を使用すること。セクションを参照: 8. 蒸気を吸い込まない。
環境保護の対策・手段	環境への放出を避けること。排水溝、下水道、または水路に進入させない。水路への流出または制御されていない流出は、環境庁または他の適切な規制機関に警告する必要がある。
封じ込め及び浄化方法・機材	流出物の除去中は、適切な個人用保護具を確保する。こぼれたものを収納する。流出物を砂、土、または任意の適切な吸着剤に吸着させる。おがくずやその他の可燃性吸着剤を吸収しない。容器に移して廃棄する。区域を換気し、物

バージョン: 4.0

発刊日: 12th 11 月 2020最初の発行日: 28th 8 月 2015

www.vishaypg.com

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

質の回収が終わったら漏洩場所を洗浄してください。この材料とその容器を有害廃棄物として処分します。

セクション 7: 取扱い及び保管

安全取扱い注意事項

皮膚、眼および衣類に触れないようにする。蒸気を吸い込まない。適切な換気を確保する。指定された個人用保護具を使用すること。セクションを参照:
8. この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。休憩の前又は作業終了後には手を洗うこと。静電気放電に対する予防措置を講ずること。妊娠中の曝露を避ける。

混触危険物質情報を含む安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。熱、発火源、直射日光を避ける。

貯蔵温度

環境

混触危険物質

から遠ざけておく: 酸類 および 強力な酸化剤 (火災の原因となることがある)。

セクション 8: 曝露防止/個人用保護具

職業曝露限度

物質	CAS 番号	OEL		ノート
		ppm	mg/m ³	
キシレン (全異性体およびその混合物)	75-07-0	50	90	JSOH

源泉、出典: JSOH Recommendation of Occupational Exposure Limits (2018 - 2019), J Occup Health 2018; 60: 419-452

職業曝露限界の勧告 (2018 年~2019 年)、J Occup Health 2018 年; 60: 419-452

生物学的曝露指数

物質	CAS 番号	測定対象		生物学的許容値	試料採取時期
		試料	物質		
キシレン	1330-20-7	尿	総メチル馬尿酸 (o-, m-, p- 三異性体の総和)	800 mg/l	シフトの終わり

源泉、出典: JSOH Recommendation of Occupational Exposure Limits (2018 - 2019), J Occup Health 2018; 60: 419-452

職業曝露限界の勧告 (2018 年~2019 年)、J Occup Health 2018 年; 60: 419-452

適切な工学的制御

適切な換気を確保する。または適切な封じ込め方法を使用する。大気中のレベルは、職業曝露限度に準拠して管理する必要がある。局所排気を推奨。眼の洗浄システムと安全シャワーが作業場所の近くにあることを保証する。

個人用保護具などの個別の保護対策

化学物質の取り扱いに関する一般的な衛生対策が適用される。皮膚、眼および衣類に触れないようにする。蒸気を吸い込まない。休憩の前又は作業終了後には手を洗うこと。作業着は分けて保管すること。汚染された衣服は徹底的に洗浄する必要がある。作業場所では飲食、喫煙を行なってはならない。

保護衣は、扱う有害物質の濃度と量に応じて、作業場所専用を選択する必要があります。保護服の化学物質に対する耐性は、それぞれの供給業者に確認する必要があります。

眼/顔面保護



液体の飛沫から保護するため保護メガネを着用すること。側面保護 (EN166)
 付きの眼の保護具を着用する。

皮膚保護



手の防護: 不浸透性の手袋を着用する (EN374)。浸透による問題を避けるために、手袋は定期的に交換しなければならない。使用する手袋の種類は、作業活動と期間、および取り扱う材料の濃度/量に基づいて選択する必要がある。推奨: ネオプレン。

体の保護: 長靴、白衣、前掛けまたはつなぎ服を含む不浸透性の防護衣を適宜着用して、皮膚に接触しないようにしてください。

呼吸保護具



換気の良い場所でのみ使用する。呼吸用保護具を着用すること。オープンシステム: 適切な呼吸用保護具を着用する。

特定の条件に起因する危険性に対する特別な注意事項 予期されていない

セクション 9: 物理的および化学的特性

物理的及び化学的特性に関する情報

外観	黒い ペースト
臭い	芳香族
臭いの閾値	非該当
pH (値)	確立されていない。
沸点また初留沸点及び沸騰範囲 (°C)	非該当
沸点、初留点及び沸騰範囲 (°C)	確立されていない。
引火点 (°C)	非該当
気化速度	0.7 (キシレン)
引火性 (固体、気体)	非該当 - 液体の。
可燃性限界または爆発限界の上限/下限	非該当
蒸気圧 (mm Hg)	非該当
蒸気密度 (Air = 1)	3.7 (キシレン)
比重	~1.1 g/cm ³ (H ₂ O = 1)
可溶性	無視できる (水)
分配係数 (n-オクタノール/水)	確立されていない。
自動発火点 (°C)	利用不可
分解温度 (°C)	利用不可
粘度 (mPa. s)	利用不可

追加特性

バージョン: 4.0

発刊日: 12th 11 月 2020最初の発行日: 28th 8 月 2015

www.vishaypg.com

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

爆発特性	爆発しない
酸化性	発火作用 (酸化性) なし。
密度	~1.1 g/cm ³
揮発性有機化合物の含有量	302 g/L

セクション 10: 安定性及び反応性

反応性	普通の状態安定。
安定性	普通の状態安定。
危険有害反応可能性	有害な重合は起こりません。 引火性液体及び蒸気.. 蒸気は空気より重く、着火源および逆火源までかなりの距離を移動することがあります。 酸化性物質との接触を避ける。火災の原因となることがある。
避けるべき条件	熱、発火源、直射日光を避ける。
混触危険物質	から遠ざけておく: 酸類 および 強力な酸化剤。
危険有害な分解生成物	火災により分解し、有毒なフュームを放出するおそれがある。一酸化炭素、二酸化炭素, フェノ< 距 [*] , 酸類 および 複数のアルデヒド。

セクション 11: 有害性情報

毒性的影響に対する情報	
急性毒性 - 経口	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合物計算: 推測された LC50 > 2000 mg/kg KW/日。
急性毒性 - 経皮	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合物計算: 推測された LC50 > 2000 mg/kg KW/日。
急性毒性 - 吸入	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。 急性毒性推定混合物計算: 推測された LC50 > 20.0 mg/L。
皮膚腐食性・刺激性	皮膚刺激性 2; H315: 皮膚刺激
キシレン	皮膚刺激性 2; H315: 皮膚刺激 NITE GHS 分類. EU 調和された分類. ECHA 登録 エンドチャ Cント要約.
深刻な眼の損傷/刺激	Eye Irrit. 2; H319: 強い眼刺激.
キシレン	Eye Irrit. 2; H319: 強い眼刺激. NITE GHS 分類.
呼吸器感作性又は皮膚感作性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
生殖細胞変異原性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
発がん性	これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。
生殖毒性	Repr. 1B; H360: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ.
キシレン	Repr. 1B; H360: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ. NITE GHS 分類.
STOT - 一回曝露	STOT SE 1; H370: 臓器への損傷を引き起こす: 中枢神経系, 気道, 肝臓, 腎臓.
キシレン	STOT SE 1; H370: 臓器への損傷を引き起こす: 中枢神経系, 気道, 肝臓, 腎臓. NITE GHS 分類.

バージョン: 4.0

発刊日: 12th 11 月 2020最初の発行日: 28th 8 月 2015

www.vishaypg.com

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

国連番号	UN 1139	UN 1139	UN 1139
国連輸送名	COATING SOLUTION	COATING SOLUTION	COATING SOLUTION
輸送における危険有害性クラス	3	3	3
包装等級	III	III	III
海洋汚染物質	海洋汚染物質として分類されていない。		
使用者向けの特別な予防処置	セクションを参照: 2		
MARPOL 条約附属書 II 及び IBC コードによるばら積み	非該当		
輸送			
その他のデータ	.		
数量限定	5 L		
微量危険物	E1		
トンネル制限コード	3 D/E		

セクション 15: 規制情報

物質又は混合物に対する安全、保健及び環境に関する規定/法規

労働安全衛生法 (ISHA)

表示対象物	キシレン: $\geq 0.3\%$
通知対象物	キシレン: $\geq 0.1\%$
有機溶剤	キシレン: 第二種有機溶剤、など
作業環境負荷基準の管理濃度	キシレン: 管理水準 50ppm
毒物及び劇物取締法	キシレン: 劇物
化学物質の審査及び製造等の規則に関する法律	
優先評価化学物質	キシレン: 登録番号 125
既存化学物質	キシレン: 化審法官報整理番号 3-3
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR)	キシレン: クラス I 指定化学物質

セクション 16: その他の指示

以下の項には改訂または新しい内容が含まれる: 1 – 16. 物質/混合物の分類の更新. 更新されたバージョンと日付.

新しいフォ< }ットが発行されました。すべてのセクションが更新され、新しい情報が追加されました。注意垂 SDS を確認してください。

参照: 既存の安全データシート (SDS). NITE 化学物質総合情報提供システム. EU 調和された分類 および 以下に対する既存の ECHA 登録:

キシレン (CAS 番号 1330-20-7).

参考文献:

- Walsh, Armstrong, Bartley, Salman and Frank. 1977. Residues of emulsified xylene in aquatic weed control and their impact on rainbow trout. Appl. Sci. Branch, Eng. Res. Cent. Denver, CO: 15p.
- Hodson J and Williams NA. 1988. The estimation of the adsorption coefficient (Koc) for soils by high performance liquid chromatography. Chemosphere 17, 67-77.

この安全データシートは、日本工業規格 JIS Z 7252 : 2019 および JIS Z 7253 : 2019 に従って編集されています。

バージョン: 4.0

発刊日: 12th 11 月 2020最初の発行日: 28th 8 月 2015

www.vishaypg.com

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

物質又は混合物の分類 以下に準拠 JIS Z 7252:2019	分類方法
Flam. Liq. 3; H226	推測された 沸点 (°C) / 推測された 引火点
Asp. Tox. 1; H304	推測された 粘度
Skin Irrit. 2; H315	しきい値の計算
Eye Irrit. 2; H319	しきい値の計算
Repr. 1B; H360	しきい値の計算
STOT SE 1; H370	しきい値の計算
STOT RE 1; H372	しきい値の計算

注釈

ADR/RID	ADR : 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定 / RID: 危険物の国際鉄道輸送に関する規制
CAS	CAS : ケミカルアブストラクトサービス
EC	EC : 欧州共同体
EU	欧州連合
IATA	IATA : 国際航空運送協会
ICAO/IATA	ICAO : 国際民間航空機関 / IATA : 国際航空運送協会
IMDG	IMDG : 国際海事危険物
LC50	当該動物の 50% が死亡する致死濃度
LD50	当該動物の 50% が死亡する致死量
OECD	経済協力開発機構
UN	国連

危険有害性分類 / 分類コード:

Flam. Liq. 3; 引火性液体, カテゴリー 3
 Asp. Tox. 1; 吸引性呼吸器有害性, カテゴリー 1
 Acute Tox. 4; 急性毒性, カテゴリー 4
 Skin Irrit. 2; 皮膚腐食性・刺激性, 範疇 2
 Eye Irrit. 2; 眼 刺激作用, 範疇 2
 Acute Tox. 4; 急性毒性, カテゴリー 4
 STOT SE 3; 特定標的臓器毒性 - 一回曝露, カテゴリー 3
 Repr. 1B; 生殖毒性, カテゴリー 1B
 STOT SE 1; 特定標的臓器毒性 - 一回曝露, カテゴリー 1
 STOT RE 1; 特定標的臓器毒性 - 反復曝露, カテゴリー 1
 Aquatic Chronic 3; 自然水系を汚染する, 慢性, カテゴリー 3

危険有害性情報

H226: 引火性液体及び蒸気.
 H304: 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ.
 H312: 皮膚に接触すると有害.
 H315: 皮膚刺激
 H319: 強い眼刺激.
 H332: 吸入すると有害.
 H335: 呼吸器への刺激のおそれ.
 H336: 眠気又はめまいのおそれ.
 H360: 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ.
 H370: 臓器の障害.
 H372: 長期にわたる・又は反復ばく露による臓器の障害.
 H412: 長期継続的影響によって水生生物に有害.

トレーニングのアドバイス: 関連する作業手順と潜在的な曝露の程度を考慮する必要がある。それらにより、一層高いレベルの保護が必要かどうか判断される可能性がある。

免責事項

バージョン: 4.0

発刊日: 12th 11 月 2020

最初の発行日: 28th 8 月 2015

www.vishaypg.com

安全データシート 以下に準拠: JIS Z 7253: 2019

記載の情報もしくは他の方法で提供された情報は最善の知見に基づき、誠意を持って提供しております。使用者は、これを参考として自らの責任において個々の取り扱い等の実態に応じ、適切なる措置をお取り願います。Vishay Precision Group

はいかなる用途に対しても製品の適合性に関して保証するものではありません。法による場合を除き、暗黙の保証や条件 (法的なあるいはそうでない) はございません。Vishay Precision Group

は、この情報に起因する損失または損害の責任を負うものではありません (欠陥製品が原因で死亡もしくは負傷し、そのことが証明された場合を除き) 。特許、著作権および意匠のもと自由な使用权があるということではありません。

Disclaimer

ALL PRODUCTS, PRODUCT SPECIFICATIONS AND DATA ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE.

Vishay Precision Group, Inc., its affiliates, agents, and employees, and all persons acting on its or their behalf (collectively, "VPG"), disclaim any and all liability for any errors, inaccuracies or incompleteness contained herein or in any other disclosure relating to any product.

The product specifications do not expand or otherwise modify VPG's terms and conditions of purchase, including but not limited to, the warranty expressed therein.

VPG makes no warranty, representation or guarantee other than as set forth in the terms and conditions of purchase. **To the maximum extent permitted by applicable law, VPG disclaims (i) any and all liability arising out of the application or use of any product, (ii) any and all liability, including without limitation special, consequential or incidental damages, and (iii) any and all implied warranties, including warranties of fitness for particular purpose, non-infringement and merchantability.**

Information provided in datasheets and/or specifications may vary from actual results in different applications and performance may vary over time. Statements regarding the suitability of products for certain types of applications are based on VPG's knowledge of typical requirements that are often placed on VPG products. It is the customer's responsibility to validate that a particular product with the properties described in the product specification is suitable for use in a particular application. You should ensure you have the current version of the relevant information by contacting VPG prior to performing installation or use of the product, such as on our website at vpgsensors.com.

No license, express, implied, or otherwise, to any intellectual property rights is granted by this document, or by any conduct of VPG.

The products shown herein are not designed for use in life-saving or life-sustaining applications unless otherwise expressly indicated. Customers using or selling VPG products not expressly indicated for use in such applications do so entirely at their own risk and agree to fully indemnify VPG for any damages arising or resulting from such use or sale. Please contact authorized VPG personnel to obtain written terms and conditions regarding products designed for such applications.

Product names and markings noted herein may be trademarks of their respective owners.

Copyright Vishay Precision Group, Inc., 2014. All rights reserved.